



笑顔が浮かぶ 贈り物

お盆を控えてお中元シーズンもたけなわ。私の家にも地方の名産品や夫の好きなビールなどが届きます。皆さんが気を使つてく



橋町 仁井 信子さん

ださるのがうれしくて、ありがたく頂戴しています。ささやかでも心が伝わればと、こちらからも阿南の名産品と心意気を贈っています。

この時期に喜ばれるのはハウスみかん。「甘いわ」と大好評です。橘湾でとれた鮮魚も大活躍！友人であるスパーの社長さんにおろしてもらつて、クール便で送ります。お皿に並べたらいいだけの新鮮なお刺し身にハウスすだちを添えて。食卓に笑顔の花が咲くようすを写した写真が

メールが届きます。ほかにちりめん、カツ天、竹ちくわハモの皮ちく、ピンクのかまぼこなど。京都の友人からリクエストがくることもありま。また、大納言入りカステラも九州では見かけないらしく、友人のひとりはおいしさの虜になつてみるみたい。

皆さん、阿南のおいしい食べ物で、この暑さを乗り切ってください。私たちも負けずに頑張りたいと思います。

もうすぐお盆。帰省した息子夫婦やめいの家族と久しぶりに会えます。お墓参りの後はみんなで会食。阿波踊りやカラオケで、阿波の熱い夏を楽しみましょう。

次は、桑野町の神野米市さんをお願いします。

市民文芸

短歌

阿南市春季短歌大会選

入選

米田千代美

入選

山根 勝哉

すでにして盛りを過ぎし花びらは雪の鱗のごとく降りくる

入選

青木 弘子

黄梅を両手伸ばせしごとく活け春待つかたち今日は啓蟄

入選

棚野 久子

はらはらと散る花びらを追いかけて幼のほゝもピンクに染まる

入選

遠藤美千代

ストラップを大きく揺らし女子校生弾ける笑顔辛夷咲く道

入選

和泉 正信

「一生に一度手を繋ぎ歩きたい」「十数えたら直ぐに離せよ」

入選

朝日さす田の土黒しぬばたまの夜のしじまに雨降れるらし

俳句

阿南市俳句連合会選

町田 哲子

姫蜚宝石のごと那賀川辺

古蚊帳を吊りて昭和を懐しむ

田中 広美

裏山の香り一新栗の花

山野 賢治

老人車携え初夏の一日旅

神野 春月

散りて尚白きを留むえごの花

数藤 恵子

水底の草も花咲く卯月かな

近藤 匡恵

小流の水車廻らず鴨足草

中野 郁

田植機の後を押すよに蝶の群れ

藤田 慶子

騒音に慣れて木影の三尺寝

奥田 久女

紫陽花の雨しとすとと仁王門

岡本 隆子

川柳

阿南川柳会 高木旬笑選

生きていく僕をとりこにしたえくぼ

田上 鶴子

新緑に呼吸も染まる過疎暮らし

武田 敏子

磨り減った靴を明日へ向けて干す

鈴木レイ子

未熟だと自覚している青りんご

林 満子

ちぐはぐをファッションと言う無精者

酒本 敏博